

# 情報「萌えて」No10

2008・1・15 発行

江刺忽布農業協同組合

TEL0197-35-3012 Fax 0197-35-3523

<http://www.vip.net/esasihop>

E-mail esasihop@cello.ocn.ne.jp



## 新春ご挨拶



麒麟社 原料資材部  
部長 酒見 大輔

江刺忽布農業協同組合の皆様、明けましておめでとうございます。昨年10月に原料資材部長に着任しました酒見 大輔です。

平素は、良質で安全な国産ホップの生産にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

国産ホップは、長年にわたり契約ホップ組合の皆様と培った信頼関係のもとに、生産者の方々の顔の見える安全で良質なホップとして評価をしています。弊社では国産ホップを使用した「ニッポンプレミアム」「一番搾りとれたてホップ」などの製品を開発し、消費者の皆様からご好評をいただいております。これも生産者の方々の皆様のご努力の賜物と感謝いたしております。

ビール・発泡酒・新ジャンルの総市場は、少子高齢化や嗜好の多様化などにより伸び悩んでいる状況にあります。麦芽など主要な原料や缶などの資材も高騰しており、市場は伸びず、原材料費は値上がりと業界をめぐる環境は大変厳しいものとなっています。

また、昨今の農業を取り巻く環境は、一段と厳しい状況になっており、ホップ栽培においても高齢化、後継者の不足等の多くの問題があると伺っております。お互いに厳しい状況ではありますが、知恵と工夫により乗り切りたいと思っています。

江刺忽布農協様では、ビールの魂であるホップ栽培は50年以上の歴史があると聞いています。歴代および現在の生産者の熱意とご努力の賜物と思います。皆様と丹精こめられたホップ園でお会いできることを楽しみにしております。

最後になりますが、皆様およびご家族の皆様のご健勝と今年のホップの豊作を祈願しましてご挨拶とさせていただきます。

## ホップ栽培の有利性を再認識

代表理事組合長 齋藤 達彦

年頭に当たり、組合員皆さん及び指導関係機関各位に対しまして、心から祝意と謝意を表します。昨年の気象経過につきましては、暖冬異常気象が続く温暖化経過の中にあっても、ホップにとりましては比較的恵まれた結果であったと思います。一部べと病やダニ被害が有りましたが、これ等は自然を相手とした農業経営の中では当然、緻密な観察と長年に亘って培われた技術力によって、対応されなければ成らないものであります。

結果的には前年比106%の収量実績を確保できました事は、組合員各位の並々ならぬ努力の成果であり、心から敬意を表するものであります。経営上より一層の成果を挙げるためには、更なる単収の確保が不可欠であり、有機施用による土作り、温暖化に対応できる品種の導入の必要性、更には後継者問題を含めた産地維持対策等、浮彫りにされた課題も明確になった年でもありました。

一方で一昨年頃から、原油高を主因とする生産資材の高騰が始まっており生産者組合員の皆さんの苦慮している処であります。値上げがなければ再生産が出来ないとの声も十分に承知いたしております。然しその事は、日本経済全体が厳しい局面に立たされている問題であり、相互に理解しあい分かち合うしか術のない課題でもあります。

私達は長年に亘って培われてきた契約栽培の有利性を再認識し、其れを自らの英知と創意工夫で農業経営に活かして行く事によって、産地維持に新たな展望を切り開いてゆかなければなりません。

農業政策は揺れ動き確信のもてる作目も経営の展望も見出せない農業の現状の中で、私達は先輩達から引き継いだ財産である、この契約栽培と言う取引形態を、契約会社との相互理解と相互信頼の中で、これからも一層日本の消費者のために更に強く育てて行く必要があると思います。

幸いにして麒麟社は国産ホップの存在感を依り意識した新製品を次々に新発売して来ている事は、私達生産者を大いに勇気付けて頂いているものであります。

皆さんの声を汲み上げ契約会社との協調性を大切にしてく中で、国産ホップの存在感と安心安全をより消費者に認識して頂く事こそが、現在相互に求められている事であると考えます。

末筆ながら組合員各位の一層のご健勝とご繁栄を心から祈ります。



## 新春に豊作と安全を祈願

平成20年の新春に当たり、ホップの豊作と農作業の安全、そして麒麟社からの受託加工作業の安全を祈願しました。

1月4日10時より新山神社に出向き、組合長以下2名の職員が組合員及び加工作業員に代わってお祓いを受けると共に、組合事務所及び麒麟社岩手ホップ管理センターに夫々御祈禱札と絵馬を頂いてまいりました。新山神社での新春祈願は10数年来継続されています。

その後仕事始めとして、関係機関に挨拶回りで新年の御指導をお願い致しました。

## 岩手県ホ連 2月6日 ホップ導入50周年記念事業を予定

岩手県ホ連はかねてより、ホップ導入50周年記念事業の実施を検討している所でしたが、1月10日に組合長事務局会議を開催し、その大綱を決定いたしました。

その内容については、2月6日(水)に岩手県が主催する特産農作物共進会と連動して、岩手県ホップ導入50周年記念式典及び祝賀会を開催する事としています。

又、記念誌を発行する予定とし、その編集内容について検討しました。後日皆さんの手元にお届けできる事と思います。

尚、共進会及び式典への出席方要請いたしますので、ご連絡を受けた方は是非御都合繰り合わせて参加をお願い致します。

## 理事会情報 総会は3月21日(金)予定

当農協の第6回定例理事会は12月8日(土)組合事務所会議室において開催されました。

- 主な協議内容については、
1. ホップペレット製造委託料の承認について  
ペレット加工トン当たり単価を承認致しました。
  2. H19年度経営検討について  
現在までの経営見通しが検討され、生産資材等購入に対する2%の購買奨励金の交付が決定になりました。
  3. 支部長手当てについて 当初予算どおり
  4. 期末手当の実施について 8月以降出向職員鳥海氏の退職に伴い、受託業務については従来通りである事から、職員2名に期末手当を支給する事としました。
  5. 公共下水道負担金について 八日町の旧事務所が公共下水道指定区域に入り工事が始まった事により公共負担分の納付を承認しました。
  6. 貸付金の審議 貸付金1件を規定の枠内で実行する事を承認しました。

又、第53回当組合通常総会は来る3月21日(金)金ヶ崎町の「ホテルみどりの郷」で開催される事になりました。本格的農作業が始まる前に、是非ご同伴でのご出席をお願い致します。尚本年は役員改選の年でもありますが、合同交流会を予定しておりますので宜しくお願い致します。

## あとがき

組合情報誌「萌えて」No10をお届け致します。麒麟社及び組合とホップ耕作者の皆さんに、出来るだけお互いを身近に感じて頂ければと思い継続しています。今回は新任の酒見原料資材部長から、皆さんへのメッセージを頂きました。今後とも国産ホップを宜しくお世話を頂きますようお願い致します。世界のバイオ燃料がらみ又は地球温暖化の影響で世界の農業に異変が生じています。日本のコメ価格は下落していますが、世界の穀物相場は急騰しています。ホップのスポット価格も急上昇中との情報もあり、長年言われてきた内外価格差もいずれ縮小してくる事でしょう。顔のみえる国内農業、国産ホップが貴重とされる時が必ず来ると信じます。(齋藤)